

2025 年度 第 460 回教育研究審議会議事要録

日 時 2025 年 12 月 16 日(火)15:30～16:45

場 所 ひびきのキャンパス 第 1 会議室

出席者 柳井学長、中武副学長、後藤副学長、内田副学長、寺田副学長、中本事務局長、
篠崎外国語学部長、田村経済学部長、児玉文学部長、中村法学部長、井上国際環境工学部長、
西田地域創生学群長、田島大学院社会システム研究科長、松永大学院マネジメント研究科長、
深谷学生部長、狭間教務部長、神原基盤教育センター長、永末入試センター長、
中澤環境技術研究所長、浅羽情報総合センター長(第4号議案のみ出席)

配布資料 1-1 教員採用選考報告書(国際環境工学部)
1-2 退職願(国際環境工学部)
2 2026年4月1日付け昇任候補者にかかる昇任選考委員会の設置について
3 特任教員の選考について
4 オープンアクセス方針及び研究データポリシーの策定について
5-1 2027年度入試の変更点について
5-2 2028年度入試の変更点について

第1号 教員の人事について

* 資料 1-1 のとおり、国際環境工学部環境化学工学科の環境化学工学(化学プロセス分野)担当教員人事について、選考委員会から採用候補者(山本雅納氏)の選考結果の報告がなされ、同報告に基づき採用候補者の採用について提案。

- 「教育研究業績書」の備考欄に、「最終著者」や「最終責任著者」等の表記があるが、どのような使い分けか。
- 表記の違いについては、改めて確認を行い、必要であれば修正を行いたい。
- 「教育研究業績書」において、著書・論文等の論文年順の誤り、タイトルやページの記載が不足している箇所等がある。
- 改めて確認し、必要な修正を行いたい。
- 「業績評価書」において、「科学」と「化学」の使い分けを確認してもらいたい。
- 「マテリアルサイエンス」という言葉もあるため、「科学」が正しいと思われるが、念のため確認する。
- 指摘があった箇所については、学長一任のもと必要な修正を行いたい。

【議長】一部資料修正の上、提案について、承認してほしいか。

【委員全員】(異議なし)

* 資料 1-2 のとおり、国際環境工学部からの申請に基づき、山田浩史講師の 2026 年 3 月 31 日付での退職について提案。

【議長】提案について、承認してほしいか。

【委員全員】(異議なし)

第2号 昇任選考委員会の設置について

* 資料 2 のとおり、2026 年 4 月 1 日付の昇任候補者にかかる昇任選考委員会の設置について提案。

【議長】提案について、承認してほしいか。

【委員全員】(異議なし)

第3号 特任教員の選考について

＊ 資料3のとおり、マネジメント研究科の特任教員14名の選考について提案。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】(異議なし)

第4号 オープンアクセス方針及び研究データポリシーの策定について

＊ 資料4のとおり、オープンアクセス方針及び研究データポリシーの策定について提案。

- 国の統合イノベーション戦略推進会議「学術論文等の即時オープンアクセスの実現に向けた基本方針」を受け、本学においても、即時オープンアクセスの対象となる科学研究費助成事業等の研究成果を機関リポジトリに掲載する必要があるため、オープンアクセス方針及び研究データポリシーを策定するもの。
- オープンアクセスに係る詳細な事項については、「解説」を作成する予定である。
- オープンアクセス方針においては「教員」、研究データポリシーにおいては「研究者」という表記になっているが違いは何か。
- 「教員」は本学に在籍する教員であり、「研究者」は教員のほか、研究を行う大学院生等も含んでいる。
- 特任教員は対象となるのか。
- オープンアクセス方針は、本学に所属する教員が対象となっている。その中でも、即時オープンアクセスの対象となっている競争的資金を使用した研究の論文については、特任教員や特任研究員を含む教員以外の研究員も同方針の対象となることを今後作成する「解説」に記載する予定である。
- 研究データポリシーは、教員に限らず、学生や特任研究員等、研究を行うすべての研究者を対象としているため、対象の幅が広がっている。
- 身分の分類が複雑になるため、「解説」において丁寧に分類していきたい。
- 学術リポジトリ運営要領を充実させるとともに、今後、「解説」を作成していくという理解でよいか。
- 各教員が学術リポジトリにウェブ上で登録することになるため、その方法等を学術リポジトリ運営要領に盛り込むことになると思う。
- 多くの部局が紀要等の学内発行の雑誌を所有していると思うが、それを所有している部局は、オープンアクセス方針等を整備するなどの対応が必要となるのか。
- 各部局で別途作成するようなものはないと考えている。
- 研究成果とはどこまでか。
- 今後、要領等で整理する予定である。
- 研究データポリシーの第4項(研究データの公開等)に、「前項に掲げる範囲内において」とあるが、その範囲が判然としない。
- 前項とは、第3項(研究データの管理)であり、管理をしているデータを対象としている。研究データポリシーの「解説」の中で、どのようなデータをどのように公開していくかを周知する予定である。年度内に説明会または研修の開催を予定している。
- 学協会が出す学術雑誌は、著作権を著者から学会に委譲しているが、本件とどのように関係してくるか。
- 本学のオープンアクセスの公開方法としては、基本的に、本学リポジトリへの登録を想定している。そのほか、学会誌への投稿や他大学のリポジトリにおいて公開するなど、様々な方法で公開できればよい。ジャーナルで公開した場合は、それをもって公開したとみなすことができる。ジャーナルから許諾が下りた場合は、本学のリポジトリに登録してもらうこともある。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】(異議なし)

報告

- ① 2027・2028年度入試の主な変更点について

その他

- ① 寄附のお願いについて